

特別養護老人ホーム いこいの杜

1 基本方針

入居者が、楽しく生き生きと安心して過ごすことが出来る環境作りに努める。

よりよいサービスを提供するために、専門職としての倫理と誇りを持ち、技能の研鑽に努める。

入居者、家族、地域住民との連携を強め、地域に開かれた信頼される施設づくりに努める。

入居者一人ひとりの尊厳と個別の暮らしが大切にされ継続できるよう、家庭的な環境と暖かで専門的ケアの中で支援するとともに、地域との連携を大切に、信頼され透明性の高い施設運営を目指す。

2 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

（1）入退所の状況

定員	前年度末 利用者数	令和5年度中の入退所状況						利 用 延人員	年間平均 稼働率	年 度 末 利用者数
		入所	退所	退所理由別						
				施設 移管	契約解除 (入院等)	家庭 復帰	死亡			
80人	79人	32人	21人	1人	12人	2人	6人	26,479人	90.43%	80人
4年度 80人	79人	15人	25人	1人	7人	0人	17人	26,366人	90.29%	79人

（2）利用者の介護度別人員

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男 性	0人	0人	3人	12人	10人	25人
女 性	0人	0人	5人	25人	25人	55人
計	0人	0人	8人	37人	35人	80人

（平均介護度4.33）

3 事業の実施状況

（1）多職種協働によるチームケアの充実

ア 認知症ケア

入居者の心のありかを見つけ寄り添う支援として、認知症状の進行に伴う心身の変化など基礎的理解、コミュニケーション手法（ユマニチュードの活用）、環境支援（PEAPの考え方、キャプション評価）、行動分析手法などの研修を実施し、新入居者のケースなど環境変化に伴う不安や生活のしづらさなど多視点に着目した課題分析（評価・分析・リフレーミング）から安心した生活に繋がるアセスメントに努めた。また、認知症介護実践者研修課題、認知症介護実践者リーダー研修事前課題の取り組みを全体の研修として分析の手法を共有した。専門的な知識や用語の理解などネット配信動画や介護雑誌を活用するなど自由学習出来る機会を設け専門性の向上を図る環境を整えた。

イ 口腔嚥下機能

毎月口腔ケアマネジメント計画作成、各ユニットの実施評価結果を基に歯科医師、歯科

衛生士から助言・指導を受けP D C Aサイクルで口腔ケアを実施した。オーラルフレイルの取り組みとして個別口腔計画書を作成し口腔体操、口腔ケアマッサージの強化など口腔嚥下機能低下予防に努めた。

ウ 事故防止

第1回研修会（5月）において、事故発生防止の為の指針、生活環境が及ぼす影響、リスク回避するための24時間生活情報シート活用の重要性を伝える研修を実施。

第2回研修会（12月）において、小形態毎に皆でリスクを考える「なぜなぜ」から原因を探り「未然に回避できる」予測支援に繋げる研修を実施し入居者の生活を見つめ直す機会を作った。

エ 身体的拘束適正化・虐待防止

第1回研修会（5月）において、身体拘束適正化指針・虐待防止指針内容の確認及び不適切ケアを含む基本的な考え方により人権意識を高める研修を実施。虐待防止アンケート、虐待の芽を実施し、虐待の芽は身近な内容に変更し日々のケアを振り返る機会とした。毎月ユニット会議において、自身のケアの課題をチームで共有する時間を設けケアの向上に努めた。身体拘束適正化委員会及び虐待防止検討委員会3ヶ月毎に開催し第三者委員の意見を伺った。

オ 医療的ケア

医療と介護が連携し、安全な医療的ケアを実施した。毎月リスクの有無の確認を行い事故再発防止に努めた。喀痰吸引研修受講・実地研修1名修了。痰吸引学習のDVD視聴研修を実施した。

カ エンド・オブライフケア

2名の看取りを実施。家族と密な情報の共有を図り、同じ時間を共にする後悔の残らない最期の家族関係作りに努めた。看取りのための家族宿泊5日間。11月エンゼルケア研修実施した。

キ 自律支援

福祉用具の安全かつ適切な使用の促進として、福祉用具の基本的な使い方点検研修を実施した。また、ADLを考慮した個々の自立度や「～したい」という声に耳を傾けた支援が意識できるよう「自分で考えてみる基本的ケア研修」や褥瘡・拘縮予防として、ポジショニングに着目した取り組みを実践報告会で発表した。

(2) 経営改善・基盤の確立

ア 稼働率は、4月～3月平均稼働率90.3%と目標稼働率96%を下回った。空所数の解消を図るため、退所から入居手続きまでの短縮化に努めたが、医療を必要とする重篤な高齢者も多く入院日数の影響も重なった。入所希望者の減少は続いているが、現在は直近の申込み者でニーズに対応出来ている。引き続き満床の持続、医療機関との密な連絡調整により稼働率の上昇を目指したい。

イ カビの発生予防として、年間通し計画的な壁の拭き取り清掃を実施した。9月に発生したユニットがあったが早期対応で処理できた。今後も年間通し拭き取り、発生を予防していきたい。

ウ 総合的な防災、減災対策に取り組み、備蓄の点検、防災訓練（夜間想定避難訓練・消火訓練・ホットライン・さくらメール同時一斉通信訓練）、自然災害時の炊き出し訓練、

不審者等防衛阻止方法のマニュアル確認訓練等実施した。

- エ 感染症発生状況に合わせ、居室での対面会を5月より再開し家族水入らずの時間が過ぎせるよう図った。コロナワクチン接種（6月→6回目、10月→7回目）入居者、職員希望者接種。インフルエンザ（11月接種）

コロナ感染防護体制（7月 1室室→7日間、9月 8室→9日間、12月 1室→1日間、1月 2室→9日間）感染発生元の特定によりユニット全体から個室へと防護体制の縮小化を図った。その都度嘱託医の助言・指示を受けながら感染拡大防止に努めた。

（3）職員資質の向上と人材育成

- ア ユニットリーダー研修4名・認知症介護基礎研修4名・認知症介護実践者研修3名・認知症介護実践リーダー研修1名、介護福祉士養成実習指導者研修1名、介護支援専門員更新研修2名受講した。介護福祉士資格1名取得。

- イ 専門性を高める研修として、毎月所内研修を計画し情報発信を図った。全体研修だけでなくユニット内研修、委員会研修など小形態毎に情報を共有する機会や自由視聴できるオンライン研修（お茶の水ネット配信）の年間購入など学ぶ機会の幅を広げ人材育成に努めた。

個別面談や個々の研修目標に沿った外部研修（オンライン研修含む）の受講及び研修情報の提供など専門的視野を広げ、自己成長、資格取得の推進を行った

（4）地域との連携・交流の促進

- ・学生ボランティア、資格取得に必要な実習等の受入れ、施設見学者の再開など次世代の育成や施設情報発信を復活させた。地域交流は継続し、中ノ茶屋自治会の協力を得ながら一人暮らしの高齢者へ手作り和菓子で心の交流を図った。余暇活動については、5月より長年のボランティア（ミュージックケア、法話）と直接触れ合う交流を開始した。新ボランティアとして、7月～寺族婦人会と毎月生け花で交流を開始した。次年度4月から、赤ちゃんと直接触れ合う交流を予定している。アート講師による見本教材の提供や地域交流場所への定期的な写真の展示など間接的な交流は途切れなく続いている。湖陵高校学生ボランティアの受入れは直接入居者と関わらない内容で交流を止めることなく実施した。

介護講師派遣として、介護労働安定センター主催の実務者研修講義2日間1名派遣、湖陵高校食事支援実習講義1名出校した。

（5）労働環境の整備

- ア 福祉用具の安全かつ適正な活用と積極的な活用を推進し介護負担の軽減に努めた。一人に負担のかかるケースについては、ケースに合わせた介助方法のマニュアル化や複数人での介助方法などを検討し身体的・精神的負担の軽減を図った。6月より眠りスキャンを導入、リアルタイムな睡眠状態の可視化により、要観察者の離床動作や体調変化の早期発見など入居者、職員の安心ケアに繋がった。更なる活用を研究していきたい。

- イ エルダー制や習熟度に合わせた見習い期間による新任職員の不安軽減や希望に配慮したシフトや職員の日常生活においても考慮を重要視し働きやすい労働環境作りに留意した。システム活用による労働時間の管理や業務の効率化、負担軽減、時間外勤務軽減の推進など労働環境整備に努めたが、下期からの人員不足による労働負担が職員の疲労に繋がってきている。

ウ ストレスチェック実施結果による産業医との分析や外部講師によるストレスマネジメント研修実施、日々の声かけ、個別面接など受容的で相談しやすい雰囲気作りなど環境改善を図りストレスの軽減に努めた。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	受入期間	実人員	延人員
社会福祉専門学校介護実習	6月～2月	3人	52人
イングスジョブスクール	2月～3月	1人	8人
県採用職員体験研修	10月	2人	4人
介護労働講習施設見学	6月	23人	23人
介護労働講習講義（出張講義）	7月	36人	72人
介護労働講習施設実習	11月	2人	4人
社会福祉士相談援助実習（施設見学）	9月	1人	1人
湖陵高校食事支援実習（出張講義）	2月	17人	17人
警察学校車いす講習（出張講習）	9月	28人	28人
障がい・高齢・あいサポート講義			
計		113人	209人

(2) ボランティアの受入実績

ミュージックケア・生け花・法話・絵手紙（資料提供・アドバイス）・湖陵高校お掃除隊・四季の写真展示・油絵展示・リアル粘土細工展示・水彩画展示

（計：延べ 102人（資料提供・アドバイス含））